

令和3年度みきっ子未来応援協議会 家庭・地域・学校教育部会 次第

日時 令和4年1月18日(火)

場所 三木市役所5階大会議室

1 開会あいさつ

2 部会長、副部会長紹介

3 委員自己紹介

4 協議事項 「家庭・地域・学校が一体となった人づくりに関すること」

(1) 事例及び現状

- ・三木市の児童生徒のインターネット利用について
- ・青少年の健全育成に係る事業について
- ・地域と学校の連携・協働体制構築事業について

(2) 家庭、地域、学校の連携

5 その他

6 閉会あいさつ

令和3年度

みきっ子未来応援協議会

(家庭・地域・学校教育部会)

日時：令和4年1月18日(火) 19:00～

場所：三木役所 5F 大会議室

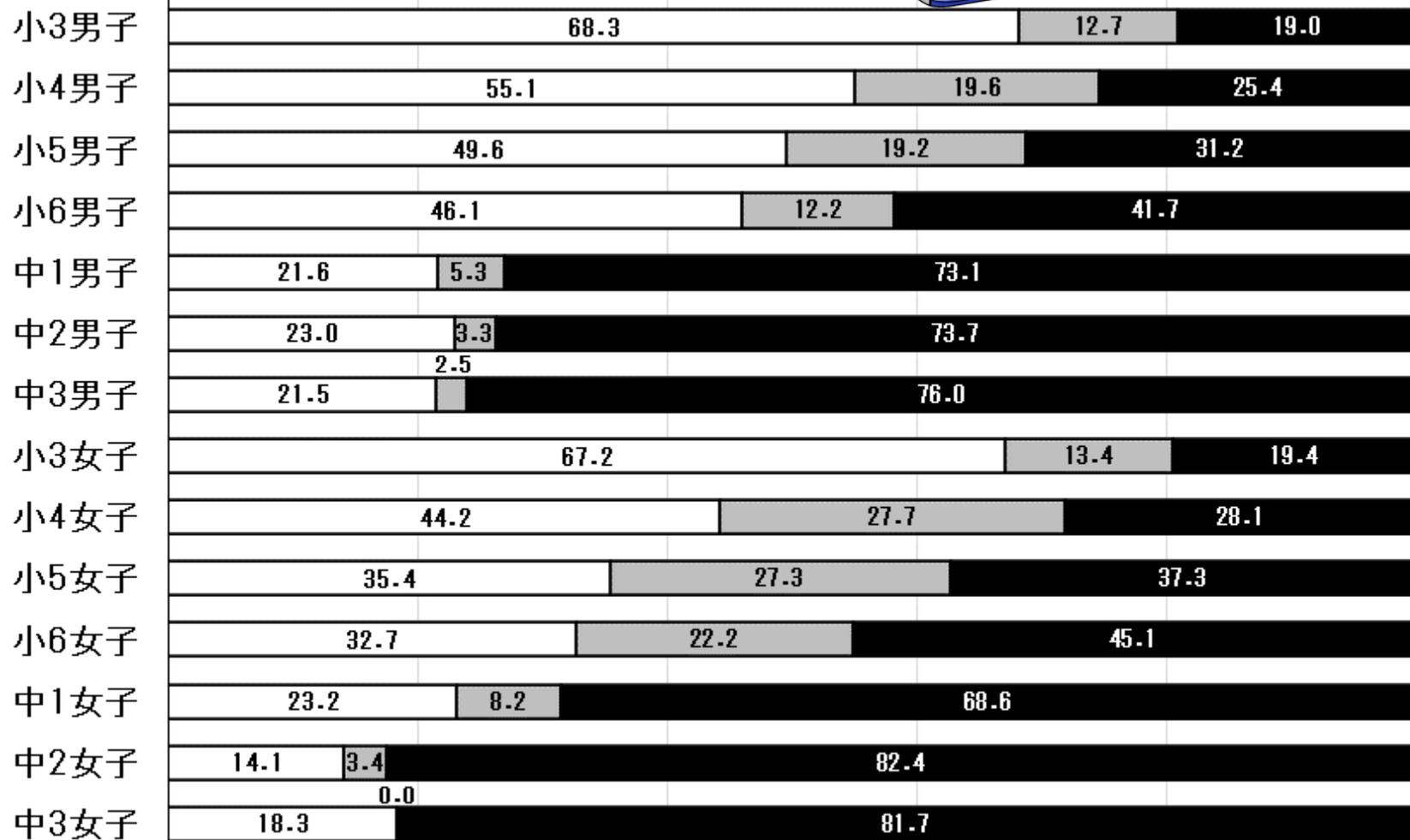
# (1) 三木市の児童生徒 インターネット利用状況

5月～6月にアンケートを実施

小3	1	3	5	人	(可能な範囲で参加)
小4	5	5	6	人	
小5	5	4	4	人	
小6	5	3	8	人	
中1	4	2	4	人	
中2	4	3	7	人	
中3	4	8	8	人	
合計	3	1	2	2	人

# 携帯電話やスマートフォンの所持率

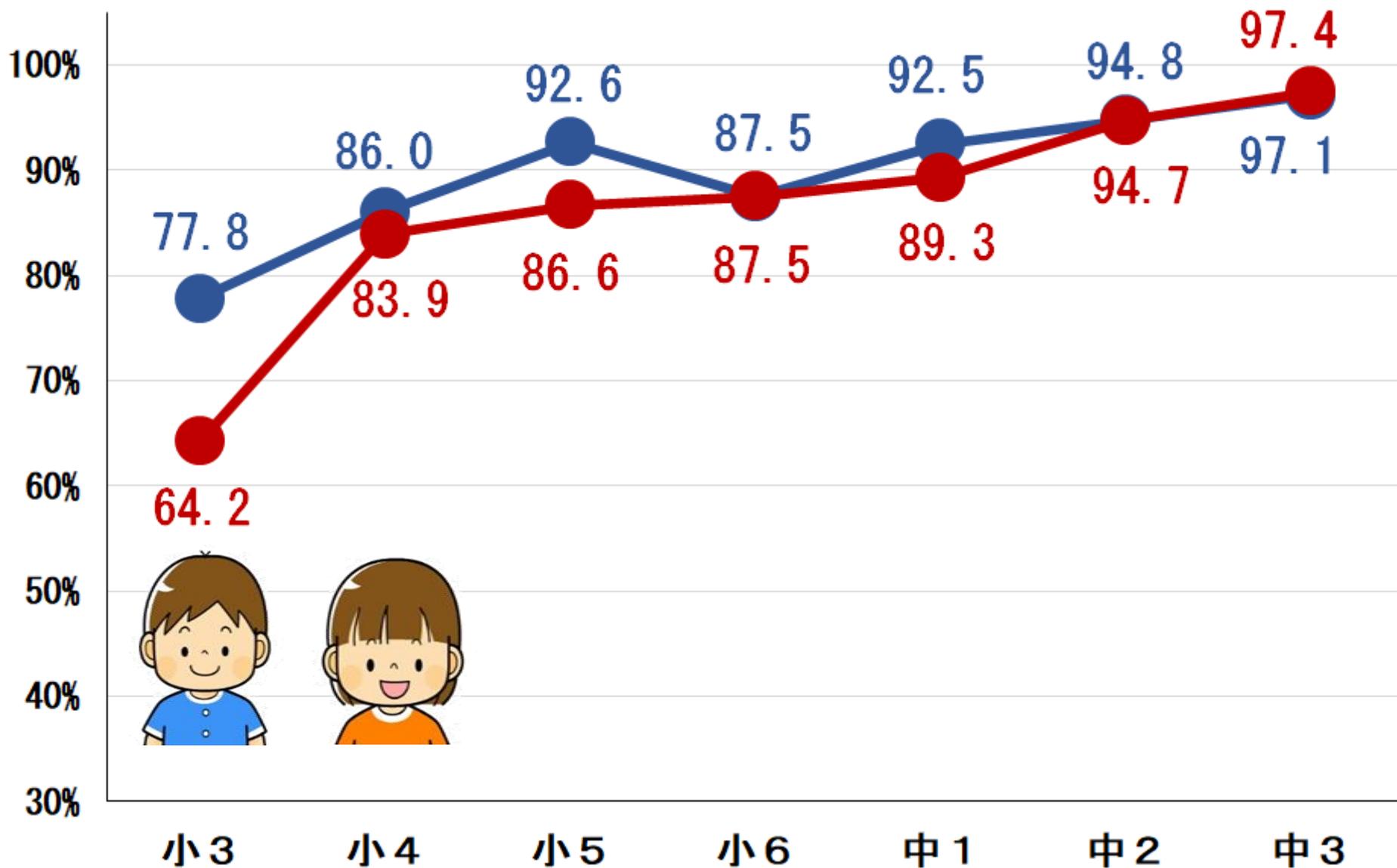
不所持



0% 20% 40% 60% 80% 100%



# 普段インターネットを接続している割合



# 一番インターネット接続をする機器



男子



女子

小3

ゲーム機

テレビ

小4

ゲーム機

テレビ

小5

ゲーム機

ゲーム機

小6

ゲーム機

スマホ

中1

スマホ

スマホ

中2

スマホ

スマホ

中3

スマホ

スマホ

# 家で一番すること

ネット以外

ネット

テレビ

遊び

勉強等

小3男女

35.8

19.4

22.4

22.4

小4男女

34.4

21.1

19.7

24.8

小5男女

46.0

17.6

20.2

16.1

小6男女

51.3

16.5

16.9

15.2

中1男女

51.8

13.4

5.0

29.8

中2男女

71.5

12.5

5.8

10.2

中3男女

70.5

11.8

3.1

14.6

0%

20%

40%

60%

80%

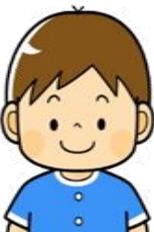
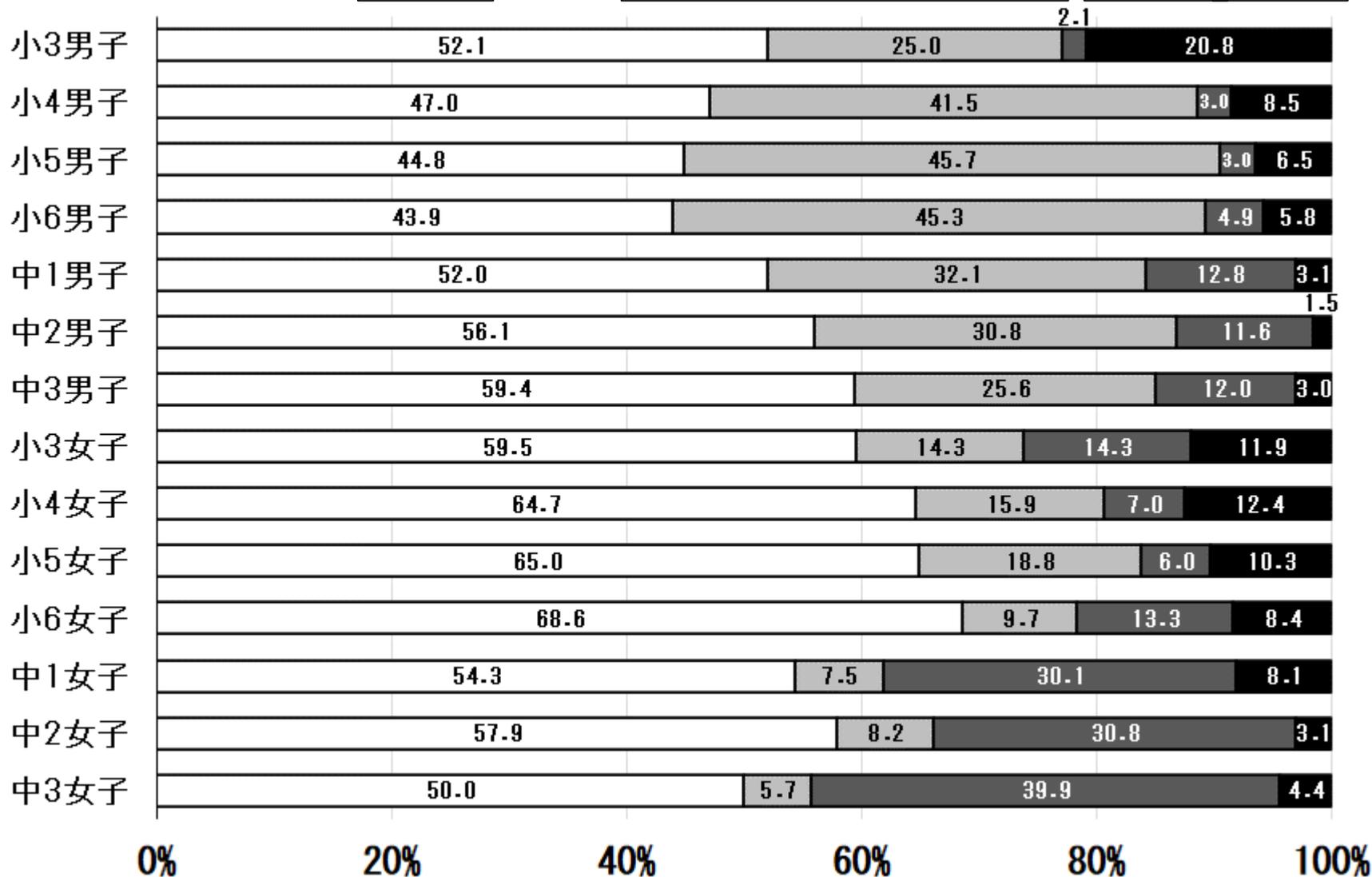
100%

# インターネットで一番すること (%)

動画

オンラインゲーム

SNS 勉強



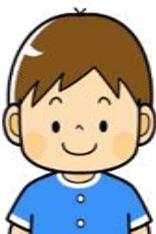
# インターネットで一番すること (%)

動画

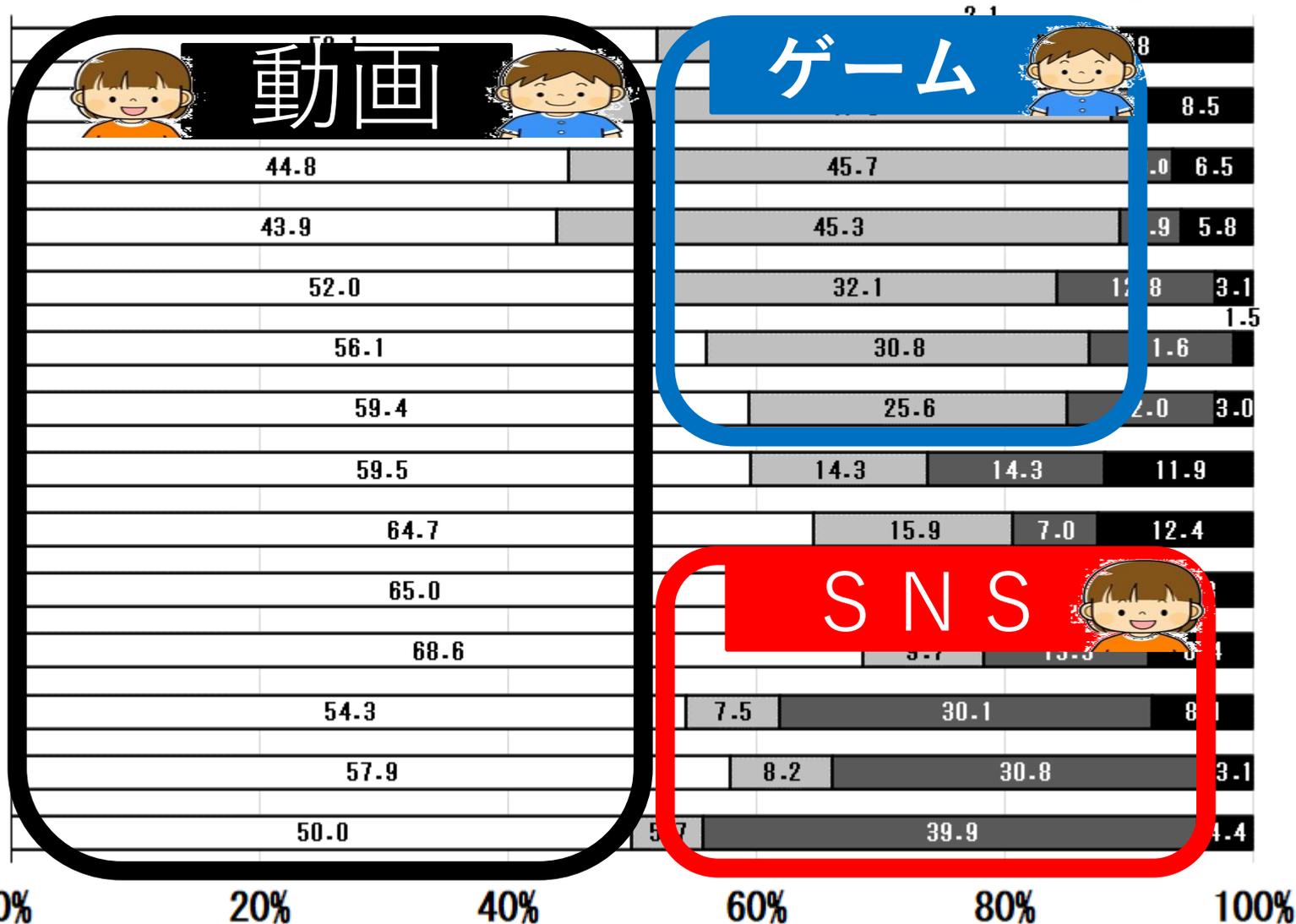
オンラインゲーム

SNS

勉強



小3男子  
小4男子  
小5男子  
小6男子  
中1男子  
中2男子  
中3男子  
小3女子  
小4女子  
小5女子  
小6女子  
中1女子  
中2女子  
中3女子



動画

ゲーム

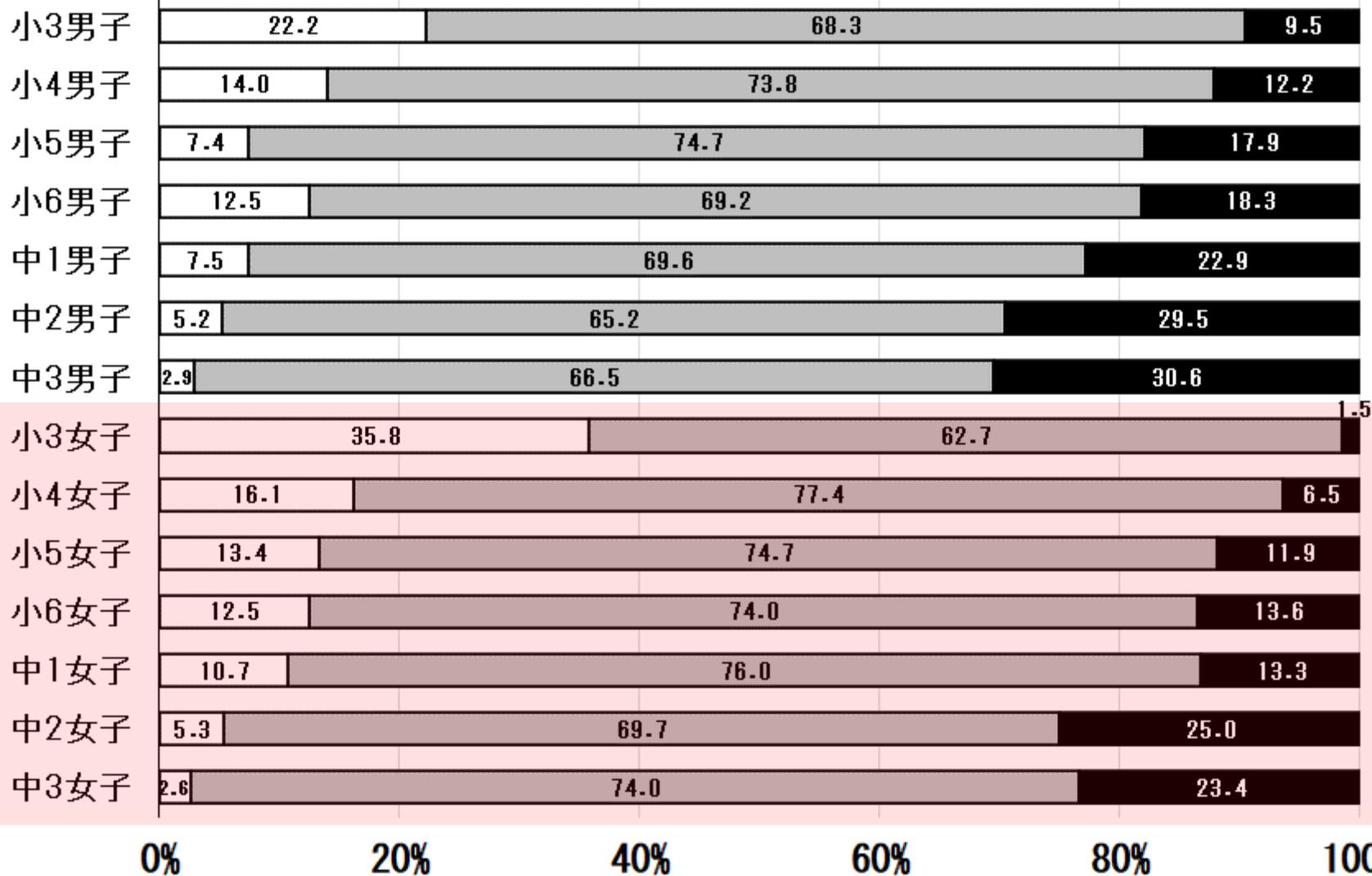
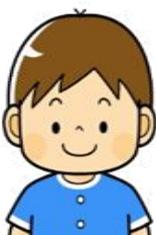
SNS

# インターネットの接続時間

しない

～4時間

4時間～



# 三木市の4時間以上インターネットに接続している児童生徒の状況

夜遅く寝る

イライラしている

勉強に自信ない

1分で返信

ネットでケンカ

ネットで課金（5000円以上）

知らない人とやりとり

実際に会っている

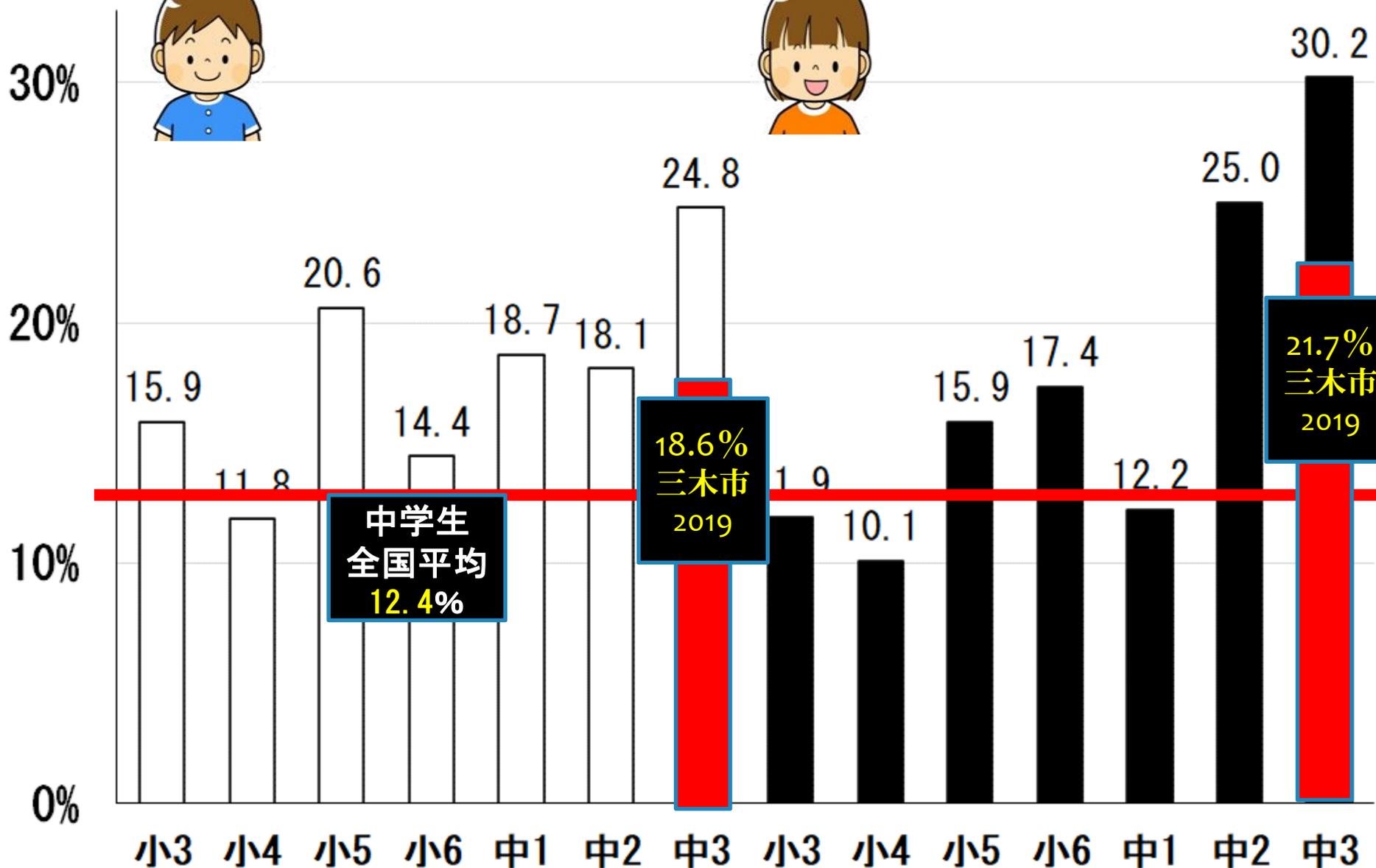
# インターネット依存調査

- ① ネットに夢中とを感じる
- ② 満足のため使用時間をもっと長時間したい
- ③ 中止を試みたがうまくいかないことがたびたび
- ④ 時間を短くしようとするといライラする
- ⑤ 考えていたより長く続けてしまう
- ⑥ ネットで人間関係を台無しにしたことがある
- ⑦ 熱中を隠すため家族や先生に嘘をついたことがある
- ⑧ 絶望、不安から逃げるためにネットを使う

3 個～ 危険

5 個～ 依存？

# インターネット依存傾向あり (%)



インターネット依存傾向あり (%)

全国中学校平均 12.4%  
2018年

小学校 中学校

三木2019 6.9% 16.0%

三木2021 14.9% 22.1%

## (2) 三木市の取組

- ネット利用教室
- ネットサミット
- いじめ・不登校フォーラム
- ネット見守り隊
- 学年別ICTスキル一覧表  
三木市版

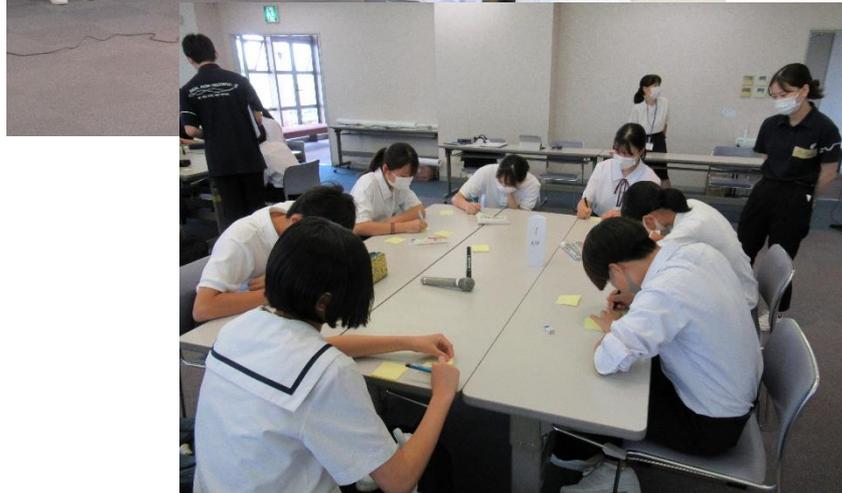
# ○ ネット利用教室

全小学校と希望のあった中学校で実施



# ○ ネットサミット

- ・各中学校から3名の生徒を集め、教育センターでインターネット利用について考えた。
- ・講師 兵庫県立大学 准教授 竹内 和雄



# ○ いじめ・不登校フォーラム

- ・コーディネーター

兵庫県立大学 准教授 竹内 和雄

- ・参加者

教師、PTA、教育委員

ネットサミットに参加した生徒 約90名

- ・場 所

三木南交流センター 体育館

- ・内 容

ネットサミットで考えた「保護者への提言」

「先生への提言」「三木市への提言」等を生徒が発言し、そのことについて意見を出し合った。

# ○ ネット見守り隊

# ○ 学年別ICTスキル一覧表 三木市版

1		2							3	
4		5							6	
2	3	1年	2年	3年	4年	5年	6年	中学校	備考	
A:基本操作										
4	1	○	・	・	・	・	・	・		
5	2	○	・	・	・	・	・	・	低学年は保護者の協力が不可欠	
6	3			○	・	・	・	・		
7	4	○	・	・	・	・	・	・	低学年はキーボードにシールを貼るなどの工夫	
8	5	○	・	・	・	・	・	・		
9	6	○	・	・	・	・	・	・		
10	7	○	・	・	・	・	・	・	ダブルクリック、ダブルタップは案外難しい	
11	8		○	・	・	・	・	・	高学年以降ではCtrl+C/X/Vを教えるのも可	
12	9	○	・	・	・	・	・	・		
13	10		○	・	・	・	・	・		
14	11		○	・	・	・	・	・		
B:文字入力										
16	1	○	・	・	・	・	・	・	パスワードを入力するためにも必要不可欠	
17	2		○	・	・	・	・	・		
18	3			○	・	・	・	・	3年生当初で、ローマ字とアルファベットの大小字小文字を学習するようカリマネ必要	
19	4			○	・	・	・	・		
20	5	○	・	・	・	・	・	・	Shiftと同時入力で大文字に	

今後ともインターネットを上手に活用しながら、よりよい学びや生活が送れる子どもたちを育成していきます。

ご清聴ありがとうございました。

## 令和3年度「青少年の健全育成に係る事業」について

三木市教育委員会事務局 教育振興部 青少年センター

### 1 青少年センターが取り組む青少年の健全育成に係る事業

#### (1) 児童・生徒等の見守り活動

- ・「人の目の垣根隊」会員が、小学校区ごとに登下校、放課後等の見守り活動を実施
- ・活動時の会員による「あいさつ運動」や「安全指導」の実践
- ・小学校区ごとに「人の目の垣根隊意見交換会」を実施し、会員の思いや要望を聞き、今後の見守り活動に反映（令和3年度は、新型コロナ感染拡大防止のため、中止）
- ・人の目の垣根隊会員の車両に【子ども安全・安心パトロール中】のマグネットシールを貼付した見守り活動の実施（申出があれば）
- ・年度初めに市内公立こども園や幼稚園、小学校の保護者宛に会員募集用紙の配布
- ・公共施設等に会員募集用紙を設置し、期間を設けず随時募集
- ・毎年「広報みき」3月号で会員募集を掲載

#### (2) インターネット利用における加害や被害防止に向けた「ネット見守り隊」事業

- ・ゲームやツイッター、フェイスブック、動画サイト等の検索を随時行い、特別監視員から青少年センターが報告を受けた事案に関しては、学校教育課を通じて関係小・中学校と連携して児童生徒に適切な指導
- ・青少年のネット利用状況を知ることにより、流行や動向を把握

#### (3) 関係機関との連携による取組

- ・学校・警察・事業者連絡会で情報交換（年2回）
- ・近隣中学校生徒指導連絡協議会で情報交換（年2回）
- ・中播磨高等学校生徒指導協議会で情報交換（年4回）

### 2 青少年センターと補導委員会が協働して取り組む青少年の健全育成に係る事業

#### (1) 青少年の非行防止、健全育成に向けた補導活動

- ・各地域における班活動として、地域巡回補導活動の実施（原則月2回以上の深夜補導）
- ・北播磨全域の青少年補導委員が統一活動として街頭補導活動の実施
- ・三木警察署と協働した大規模合同街頭補導活動の実施
- ・役員と各班員が協働した深夜補導活動の実施
- ・大宮神社や岩壺神社、戎神社の祭礼、みっきい夏まつり等各地域で行われる神社祭礼や納涼大会、文化祭等での補導活動を実施
- ・11班（PTA班）とともに白ポスト回収・小学校訪問を行い、情報交換を実施

## (2) 青少年健全育成啓発活動

- ・小・中学校PTAの役員や更生保護女性会の協力を得て、大型量販店舗内の巡回や店頭での啓発を兼ねた「PTAパトロール」の実施
- ・三木防犯協会と協働した青少年健全育成への啓発活動の実施
- ・青色パトロール車による下校中の児童生徒の見守り巡回活動の実施
- ・市内に8ヶ所設置した白ポストに投函された青少年に有害な図書類を、小学校PTAから推薦を受けた補導委員とともに回収および学校との情報交換
- ・三木市教育委員会依頼の下、三木市成人式会場周辺の見守り

# 令和3年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」について

三木市教育委員会事務局 教育総務部 生涯学習課

## 1 事業の趣旨、概要

近年、子どもを取り巻く環境が大きく変化しており、未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、地域住民等と学校がそれぞれの役割と責任を自覚し、連携・協働を図る体制づくりを進める必要がある。

そのため、地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていく活動（＝「地域学校協働活動」）を推進する。

三木市においては、生涯学習課に統括コーディネーターを配置し、地域住民の方や豊富な社会経験を持つ方の協力を得て、学校のニーズに応じた教育支援活動を主に実施している。

対象校は、市内の小学校14校、中学校7校、特別支援学校1校の22校で、体験活動支援（ヨガ教室、防災訓練）、学習支援（昔遊び教室、書道教室等）、学校環境整備支援（花壇の植栽、図書館ボランティア等）を行い、本年度は現時点で約70名の地域住民のボランティアの方に指導者としてご協力をいただいた。

## 2 「自由っ子未来塾」及び「おかたづけのお部屋」について

「地域と学校の連携・協働体制構築事業」は、上記の学校別の教育支援活動に加え、三木市立自由が丘公民館において「自由っ子未来塾」を、三木市立青山公民館において「おかたづけのお部屋2021」を開催した。

夏休み期間中に、自主学習や夏休みの宿題（ポスターや読書感想文など）について、児童の学習支援を行った。

## 3 本年度の新たな動き

令和2年6月22日の市立公民館10館の公民館長会議において、自由が丘公民館の「自由っ子未来塾」をモデルとした取組を令和3年度以降、他の公民館でもできないか提案したところ、今年度から青山公民館において、「三木市人権教育団体 まなびや・いちご塾」の主催により、サマースクールを開催することができた。

- ①事業目的 夏休み中の子どもの居場所づくりや基礎学力の向上、学習習慣を身につけることにより、地域の子どもの健全育成、また地域住民同士の世代間交流を図る。
- ②事業実施主体 三木市立の公民館を想定
- ③事業対象者 各公民館の地元の小学校の小学4年～6年生の児童で、募集定員は各地域の実情に応じて決定。
- ④事業内容 自学自習を基本とするが、夏休みの宿題、学校の授業の復習等に取り組む中で、疑問点や理解できないところがあれば、学習支援ボランティアがサポートする。
- ⑤周知方法 各公民館の地元の小学校の協力を得て、参加児童募集チラシを配布し、参加申請書を公民館の窓口に提出してもらう。

学習支援ボランティアは、募集チラシを各丘公民館において配布する。

⑥学習支援ボランティアの資格

高校生、大学生、社会人の方で、教えることが好きで、小学生に丁寧に関わっていただける方

⑦事業実施期間 夏休み期間中において、各地域の実情に応じて決定する。

(令和3年度実績)

・「自由っ子未来塾」

7月26日～30日、8月23日～27日(10日間)

・「おかたづけのお部屋2021」

8月10日～12日(3日間)

⑧事業実施時間 各地域の実情に応じて決定する。

⑨今後の展望 「自由っ子未来塾」や「おかたづけのお部屋2021」のノウハウを生かし、各公民館において地域の実情に沿った事業の展開方法について検討する。